



のう はく 農泊 受入家庭 募集のご案内

「また来いや!」「ありがとうございます!」「絶対また来ます!!」「またこっちにも来てね」昨日会ったばかりで、たったの1泊なのに、握手、抱き合う人、涙ぐむ人…農泊の別れ際には、毎回、そんな光景が広がります。農泊とは、都会や海外からの子どもたちと、ありのままの生活を共に送る、農村生活体験のこと。体験型の教育旅行です。

和東町では、平成26年度より地域活性化のために、農泊の受け入れに取り組んでいます。子どもたちとの交流によって、受入家庭や地域も元気になる取り組み。農泊で子どもたちを受け入れるうちに、楽しくて農家民宿を始められたご家庭もあるほどです。あなたも参加してみませんか?



農泊って何がいいの?

受入家庭の声

- ◎女の子たちといっしょに歌いながら料理をして楽しかった
子どもたちから笑顔や感動をもらえることで、元気になります。
子どもさんやお孫さんにとっても、都会や海外の子どもたちとの交流のいい機会になります。
- ◎畑の大根抜きや柿とりを手伝ってもらった。野菜がどのようにできているのか知らない子どもたちばかりで驚いていた
いつもの生活で喜んでもらえます。外の目から見た感動をもらうことで、山城地域に暮らすことよさを見直すきっかけにもなります。

体験指導料としての対価が支払われます

- (例) 3名を1泊受入する場合
5,500円×3名=16,500円
※料金は目安です。食材や寝具などは用意する必要があります。
→農泊は、地域に暮らす人にダイレクトにお金が落ちる教育観光です

地域

- ・受入家庭が元気になることで、地域も元気になります
- ・地産地消を推奨しているので、地元の商店にもお金が循環します
- ・お茶の体験を提供することで、お茶好きになってもらう。宇治茶振興にもつながります
- ・受入家庭以外の、田舎体験プログラムのサポーターも募集しています(観光における雇用の拡大)

子どもたちの声

- ◎初めて会った人ともすぐに仲良くなれたのでうれしかった
 - ◎いっしょにごはんを作ってカルタやトランプで遊んで楽しかった
 - ◎自然と茶畑がいっぱいで空気がよかった
 - ◎畑の手伝いをして農家の忙しさがわかった
 - ◎なぜかここが自分の場所のように感じた
 - ◎楽しい思い出をありがとうございました。また行きたいです
- 日本の田舎の生活体験。知らない家庭で家族のように過ごすなかで、生活の技や知恵を知る。コミュニケーション能力の育成、キャリア教育、生きる力を育むことにつながります。
- 山城地域を子どもたちの、第2のふるさとに!!



農泊の主な流れ（1泊2日の場合）



①16:30入村式
ようこそ 和束へ!



②子どもたちと対面
最初はドキドキ…



③各家庭で料理
いっしょに作ります



④家族みんなでごはん
にぎやかな食卓



⑤家族団らん
何して遊ぼう?



⑥お布団しいて就寝
明日は早起き…



⑦翌日8:30離村式
涙のお別れ



⑧お見送り
またいつか来てね!



農泊受入実績	平成26年度	平成27年度
	台湾女子中学生	スウェーデン・スカウト オーストラリア・小団体 台湾・女子中学生 奈良・小学生（塾）
	平成28年度	平成29年度
奈良・大学生 中国・小団体 中国・団体 大阪・大学生 中国・お茶グループ	京都・大学生モニター 中国・団体 台湾・団体 ほか	平成30年度（予定） 日本・修学旅行（予定） 5月 80人（2クラス） 10月 280人（7クラス）

農泊Q&A

Q 農泊って何したらええのん?

A 海外から子どもたちや修学旅行生（2～4名）の宿泊（1～2泊）、田舎体験の提供、集合場所への送迎などです。特別なことは必要ありません。子どもたちを家族のように迎えて、いつもの暮らしをありのままに送ってもらうことが、子どもたちにとっては貴重な経験となります。

Q 英語話せへんし…

A 身ぶり手ぶりで交流はなんとかなります。必要な言葉は事務局側で指差しシートなどを準備しています。言葉のない交流も楽しいもので、「海外の子の方がいい」という方もいるほどですが、日本人限定でも可能です。

Q 受け入れできるか不安やわ…

A 登録いただいた方々には、衛生管理や緊急時の対応を学ぶ、安全対策講習会など、事前のセミナーを受けていただきます。最低限必要なことを押さえられれば、不安に思うことはありません。まずはご相談ください。

Q 農家ちゃうし、体験とかできひん…

A 農家でなくても大丈夫です。田舎体験の部分は、事務局と協力して行うこともできます。子どもたちにとっては、自分の家でない家庭に友達と知らない人のおうちに泊まるだけでもドキドキワクワクする体験です。ご興味があれば、ぜひご連絡ください。

Q 民泊って違法なやつちゃうん?

A 昨今、テレビで報道されることの多い“民泊”とは「空き家」を利用して旅行客に宿を提供する宿泊ビジネスです。教育観光の目的で行っている、宿泊体験（民泊）とは別物です。ややこしいので「農泊」と呼ぶようになりました。

Q そんないつもできひんし

A 毎回受け入れていただく必要はありません。ご都合が悪くなる場合も見越して、余裕のある軒数を確保するよう努めているので、受入軒数に余裕が必要です。ご興味があれば、ぜひ受入家庭の登録をお願いいたします。

初年度（平成26）には33名だった受入人数は徐々に増え、平成30年5月には、80人の修学旅行生、また10月には280人の修学旅行生が山城地域にやってきます。受入家庭の軒数も、ひろく山城地域全体で募集をし、ありがたいことに増え続けていますが、今後の受入予定を考えるとまだまだ足りず、平成29年には100軒を目標としています。受入に向けて、事務局が全力でサポートします。少しでもご興味のある方はぜひ一度、ご連絡ください!!